

=====

としまコミュニティ大学ニュース
(2021.3.25 発行)

=====

コロナ禍でも「学びの歩みを止めない」を合言葉に開講した、今年度のとしまコミュニティ大学。

会場で受講された方や自宅のパソコンで受講された方など、学び方はそれぞれ。

これまでの生活も学びのカタチも違うけれど、コロナ禍でも学びは継続できると実感した一年でした。

10年前の東日本大震災の余震と考えられる地震が2月に起きました。

新型コロナウイルス感染症拡大も災害そのもの。

私たちの生活は、常に危機にさらされていると言っていいでしょう。

としまコミュニティ大学のゼミでは、古代の災害の歴史から、私たちが学びとる教訓はないのかを一緒に考えてみました。

ゼミの指導は、大正大学文学部歴史学科教授の榎本淳一先生です。

古代の災害として、奈良時代の天然痘大流行は、これまでの氏族制などから日本文化の中国化を大きく進めることとなり、日本の歴史の大きな転換点となったとしています。

コロナ禍でオンラインが当たり前となり、生活様式が変わった今の私たちと同じような変化かもしれませんね。

貞観の大地震・大津波は、東日本大震災とほぼ同地域で同規模な被害をもたらしたとされる貞観11年(869)5月26日に発生しました。

東日本大震災を検証した国の中央防災会議は2011年9月の報告書で、貞観地震・津波などを考慮した対策をとっていなかったことを「十分反省する必要がある」と指摘しています。

過去の記録を検証し、教訓が生かされることが、災害の歴史を学ぶ上で重要なことと先生は言っています。

他にも富士山の噴火、古代の異常気象について学びました。

「9世紀の後半の事例を参考にしながら、現代の「危機」を乗り越えるために必要な施策、改革はどのようなものか？」と、先生から課題が出ました。

受講生の皆さんはどう考えたでしょうか。

「古代の政治とコロナ禍の現代を比較し、コロナ危機に直面している今何が必要なのか？と考えた時に、国民生存のためにあらゆる手段を講じて、コロナ収束に向け、最もボトルネックと思われる方々へ持てる力の全ての「人・物・金」を集中させること。」

「地震災害、疫病、外憂など、9世紀後半と現代に多くの類似点があることは大変興味深い。人間による自然破壊による災害は人間の行動次第で防ぐことができる。国民一人ひとりがどのようなリーダーを選ぶか、しっかり考えて選挙で投票することが必要。」

「危機としては、世界の半分の人が栄養不足で食べ物に困っている人類の危機。環境の悪化。終わらない戦争と核兵器の脅威。何年かの周期で必ず予想される天災への備えや国土の強化を進めることが必須あり、怠慢は危機となる。私たちは深く考える人になりましょう！」

「コロナ禍で日本が抱えている歪みが見えてきました。経済優先による日本の自給率の低さは、環境問題や食料危機への積極的な対応をとることが必要。」

「古文書の中から歴史を調べることや、豊島区のハザードマップを参照にしながら暗渠が道路になっている箇所や液状化の危険性など、これから起こるかもしれない災害について市民レベルでも対策ができるかもしれない。」

榎本先生からの課題に対するコメントです。

「この課題のねらいは、古代の施策の目的や意義を考えて、それを現代で行う場合、どのよ

うな政策が現実的か効果的かを考えるということです。

たとえば、9世紀の租税制度の改革では一律平均の課税から経済力に応じた課税へ転換したように、経済格差の矛盾の解消し、経済弱者無くす施策も必要です。」

そして、「講師と受講生という立場であるだけで、一緒に学びあう仲間であると強く思いました。」

先生からの感想は、としまコミュニティ大学の目指すところであり、これからも楽しく学びあう場をつくっていきます。

次回の発行は、2021年4月25日です。

発行：豊島区 学習・スポーツ課 生涯学習グループ

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shogai/kyodokoza/index.html>

としまコミュニティ大学事務局

住所：〒171-8422 豊島区南池袋2丁目45番1号

電話:03-4566-2762（平日午前8時30分～午後5時15分）

ファクス:03-3981-1577

Eメール: A0014606@city.toshima.lg.jp

■豊島区内で開催されている講座の情報は「講座ほっとニュース」で！

としまコミュニティ大学ニュースとあわせて登録してみたいかどうか。

「豊島区ホームページ」からどうぞ。

<https://www.city.toshima.lg.jp/012/kuse/koho/007058/index.html>

※メールの配信停止を希望される方は、豊島区公式ホームページの「メールマガジン配信停止」から配信停止の手続きを行ってください。

Copyright(C) 豊島区 All right reserved

掲載記事の無断転載を固く禁じます。
